



User's Manual

ユーザーズマニュアル

ウェアブルカメラ

DrivePro Body 60

2023/09

(Version 1.2)



目次

1. はじめに.....	2
2. システム動作条件	2
3. 使用方法.....	3
3-1 DrivePro Body の取付け手順.....	3
3-2 各部名称	4
3-3 機能ボタン.....	6
3-4 LED ランプ.....	7
3-5 DrivePro Body 60 の充電.....	8
4. 録画.....	9
4-1 バッファリングモード.....	9
4-2 録画モード.....	9
5. スナップショット撮影	10
6. DrivePro Body App の使い方	10
6-1 アプリのダウンロードとインストール.....	10
6-2 DrivePro Body App の接続.....	10
6-3 DrivePro Body App のホーム画面	13
6-4 録画ファイルの再生とスナップショット閲覧.....	13
6-5 設定	15
7. DrivePro Body Toolbox Software ソフトウェアの使い方.....	17
7-1 ステータス.....	17
7-2 設定	18
7-3 ツール.....	21
7-4 ファイル管理	21
7-5 詳細設定	23
8. 充電ドック(別売り).....	25
9. 注意事項.....	28
10. IP67 保護等級	30
11. パッケージ内容	31
12. 仕様.....	33
13. トラブルシューティング.....	34
14. リサイクルと環境への配慮	35
15. 保証規定.....	36
16. GNU General Public License (GPL) Disclosure	37
17. End-User License Agreement (EULA)	37
18. Federal Communications Commission (FCC) Statement.....	40

1. はじめに

トランセンドのDrivePro Body 60は警官や警備員をはじめリアルタイムの撮影動画や写真を活用するその他職業向けに特別設計されたウェアラブルカメラです。本体とケーブルで繋がれているカメラユニットは様々な箇所に装着でき、Sony製センサにより低光量でも鮮明な撮影が可能です。また、GPS受信機を搭載しているので移動経路も確認できます。更に、Wi-FiとBluetooth機能により、専用アプリをインストールしたスマートフォンで録画中の動画をライブストリーミング閲覧したり、設定を変更することができます。

DrivePro Body 60 は F2.8 で 130°のワイドアングルレンズでフル HD 1080P (30FPS)録画やスナップショット撮影を行います。フル充電で最大 10 時間の録画ができるリチウムポリマーバッテリーが搭載されており、64GB の内蔵ストレージには最大 16 時間分のフル HD 1080P 画質の映像が記録できます。頑丈設計で IP67 の防水規格にも対応しています。

専用ソフトウェアの DrivePro Body Toolbox を使用することで記録データを保護することが可能です。更に、企業や組織で複数の DrivePro Body を利用される場合に便利な充電ドック(別売り)も取り扱っています。6 台の DrivePro Body を同時に充電し、データもアップロードできるので作業効率が上げられます。

特色

- 鮮明なフルHD 1080P録画(30FPS)
- 録画中にスナップショットの撮影が可能(200万画素カメラ)
- F2.8で 130°のワイドアングルレンズ
- 内蔵Wi-FiとBluetooth機能によりライブストリーミングをスマートフォンアプリで閲覧及び機能設定の調整が可能
- 64GBの内蔵ストレージ
- .MP4ファイルフォーマットの録画データ(ビットレート: 7Mbps)
- 米軍落下試験規格に相当する耐衝撃性とIP67の防水防塵保護(水面下使用不可)
- クリップと接着タイプカメラホルダーベース
- マイク搭載
- 最大10時間の録画が可能なリチウムポリマーバッテリー内蔵
- バッテリー使用状況を示すバッテリーランプ
- 操作を容易にする複数の状態表示ランプとバイブレーター搭載

2. システム動作条件

DrivePro Body 60 を PC に接続し、DrivePro Body Toolbox を使用するために必要な環境です。

- 使用可能な USB ポートが搭載されているデスクトップかノート PC
 - Windows® 7
 - Windows® 8

- Windows® 8.1
- Windows® 10
- macOS® 10.14 以降

*DrivePro Body Toolbox を利用するには管理者権限が必要です。

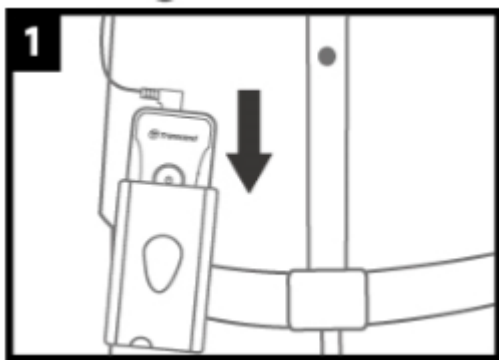
DrivePro Body App を使用するために必要な環境です。

- Bluetooth Smart 対応かつ Wi-Fi 接続機能の両方が必要です。
- 互換性情報については以下のリンク先で確認ください。

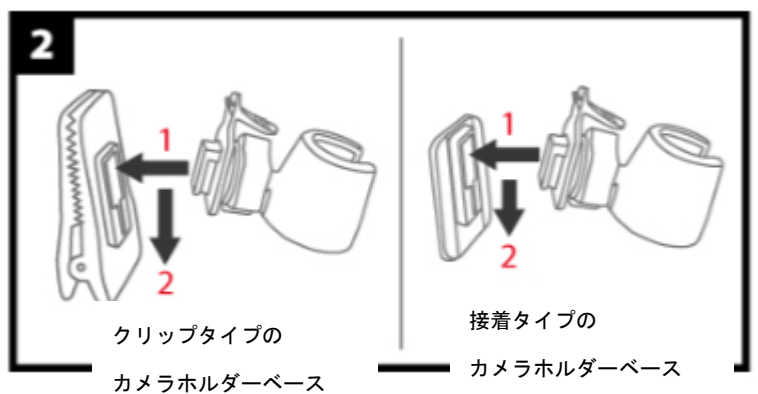


3. 使用方法

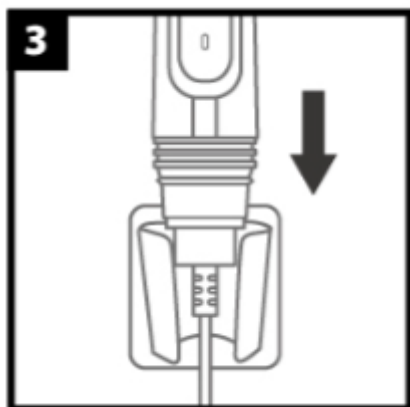
3-1 DrivePro Body の取付け手順



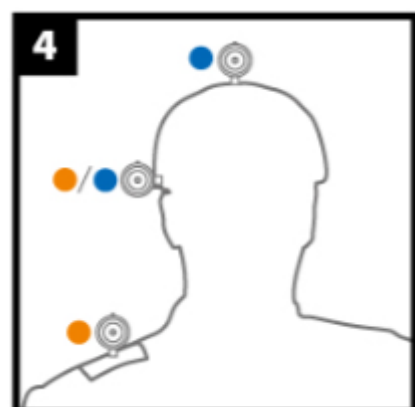
1. 本体ユニットを装着します。



2. 装着具にカメラホルダーを取り付けます。



3. カメラをカメラホルダーに取り付けます。

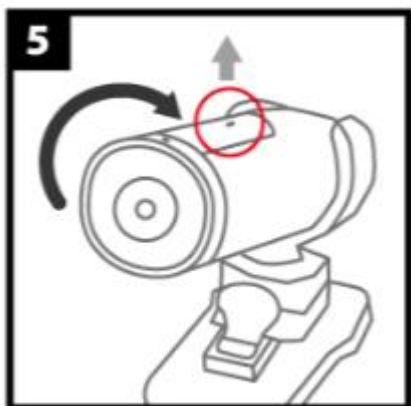


4. カメラユニットを装着します。

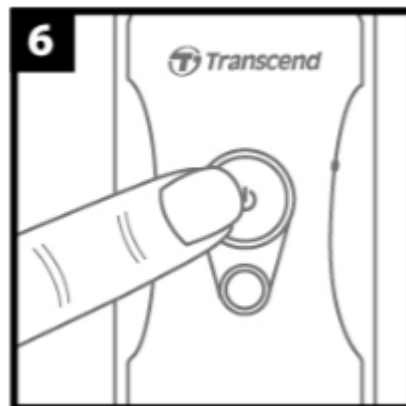
● クリップタイプの取付け例

● 接着タイプの取付け例

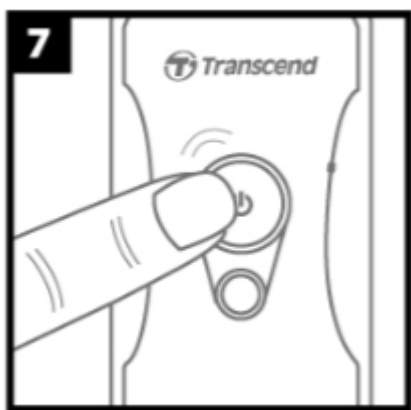
接着タイプのカメラホルダーベースは確実に取り付けられていることを確認するため、接着してから 24 時間以上経過してから使用を開始してください。



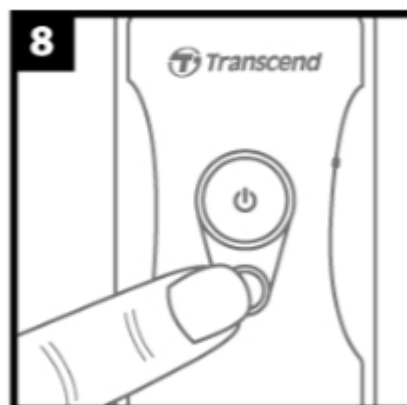
5. カメラを回転させて録画ランプが上側に来るように調節します。



6.  を長押しして電源をオンにします。



7. バッファリングモードと録画モードを切り換えるには  を素早く 2 回押します。



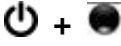
8. スナップショットを撮影する場合は、 を押します。

3-2 各部名称





3-3 機能ボタン

電源ボタン 	長押し(1 回)	電源オン/オフ
	短押し(2 回)	バッファリングモードと録音モードの切換え デフォルト: バッファリングモード
スナップショット撮影 ボタン 	短押し(1 回)	スナップショット撮影 録画モード時に録画ファイルにコメントを追加可能
	長押し(1 回)	録音
	5 秒同時押し	DrivePro Body のリセット、フォーマット、電源オフ この機能はデフォルトでは無効になっており、 DrivePro Body Toolbox で有効にすることができます。 注意! 全てのデータは消去されます。
状態表示ボタン 	長押し(1 回)	Bluetooth 接続
	短押し(1 回)	バッテリーと録画状態チェック
補助ボタン 	長押し(1 回)	LED ランプとブザーのオン/オフ(ステルスモード)
	短押し(2 回)	マイクのオン/オフ(サイレントモード)

3-4 LED ランプ

上面 1



バッテリーランプ

録画中

LED	状態	説明
●	点滅	バッテリー残量少

PC 接続/電源

LED	状態	説明
●	点灯	充電中

バッテリー残量チェック

LED	状態	説明
●	点灯	68%以上
●	点灯	31%-67%
●	点灯	31%未満

上面 2

状態表示ランプ



録画中

LED	状態	説明
●	点滅	空き容量少
●	点滅(速)	Bluetooth ペアリング
	点滅	GPS 測位中
	点灯	バッファリングモード (状態確認時)
●	点滅(継続)	録画モード (状態確認時)
	点滅(2 回)	録音モード (状態確認時)
	点灯	サイレントモード (マイク無効)

PC 接続

LED	状態	説明
●	点滅	データ転送中

カメラ上面



録画ランプ

LED	状態	説明
●	点滅	起動中
	点灯	バッファリングモード
●	点滅(継続)	録画モード
	点滅(2 回)	録音モード
	点灯	ブラウザ/PC に接続中

3-5 DrivePro Body 60 の充電

使用する前に付属の 3.5mm-USB ケーブルを使用して十分にバッテリーを充電してください。充電中はオレンジの LED が点灯します。フル充電になると LED は消灯します。

DrivePro Body を充電するには以下の方法があります。

1. 付属の 3.5mm-USB ケーブルと電源アダプタで DrivePro Body をコンセントに接続する
2. 付属の 3.5mm-USB ケーブルで DrivePro Body を PC に接続する
3. DrivePro Body をトランセンズの充電ドック(別売り)にセットする



注意: 付属の 3.5mm-USB ケーブルは他の製品に使用しないでください。

4. 録画

4-1 バッファリングモード

バッファリングモードでの録画は内蔵ストレージに録画ファイルを置かない為、ストレージ容量を大幅にセーブすることができます。

デフォルトの録画モードがバッファリングモードの場合、バッファリングモードを開始するには  を長押しして起動させます。ビープ音が1回し、電源がオンになると、録画ランプが青く点滅したのちバッファリングモードになると点灯になります。

電源をオフするには再度  を長押しします。ビープ音が1回した後、LEDランプが消灯します。(電源オフした場合、バッファされたデータは保存されません。)

 を素早く2回押すとビープ音が2回した後、バッファリングモードと録画モードが切り替わります。



4-2 録画モード

事件発生時に録画モードに切り換えることで、バッファリングされている映像(最大2分前)を内蔵メモリに書き込みます。

録画モードを開始するにはバッファリングモード中に  ボタンを素早く2回押します。ビープ音が2回あり、録画ランプが赤で点滅します。録画モードの録画ファイルは“VIDEO”フォルダに保存され、ループ録画を設定すると古いファイルから上書きされます。(この機能はデフォルトでは無効です。DrivePro Body Toolbox で有効にすることができます。)

5. スナップショット撮影

録画中にスナップショット写真を撮影するには、 ボタンを短押しします。ピープ音が 1 回します。



6. DrivePro Body App の使い方

DrivePro Body App は iOS/ Android 機器専用の無料アプリです。カメラやスナップショット撮影の設定をワイヤレスで調節したり、スマート機器にライブストリーミング映像を映します。

6-1 アプリのダウンロードとインストール

1. App Store または Google Play で DrivePro Body と入力してアプリを検索します。

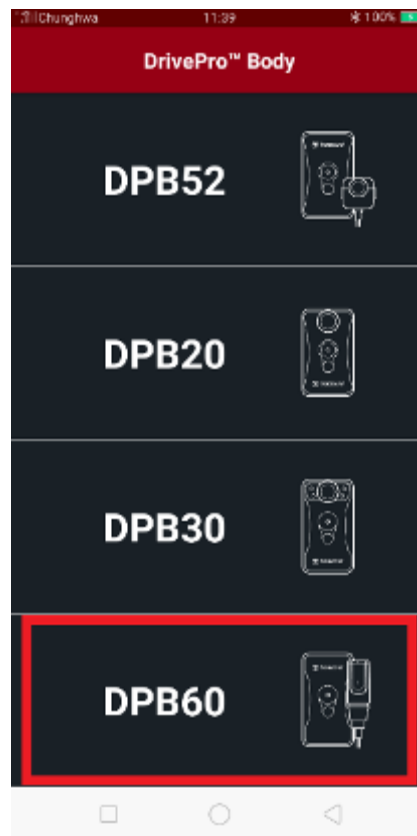


2. DrivePro Body App をダウンロードしてインストールします。

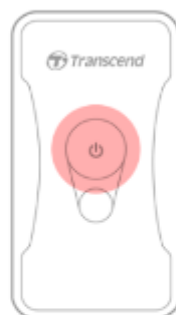
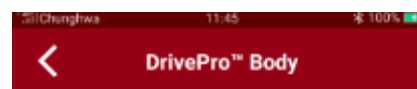
インストールが完了すると、アプリのアイコンが iOS/Android 機器のホーム画面に表示されます。

6-2 DrivePro Body App の接続

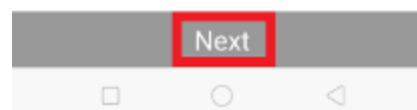
1. “DrivePro Body” App をタップして Bluetooth を起動し、**DPB60** を選択します。



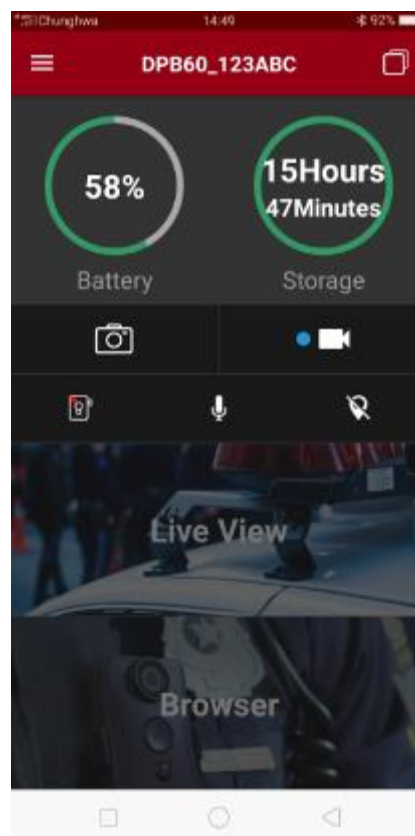
2. DrivePro Body の  ボタンを長押しして電源を入れ、**Next** をタップします。



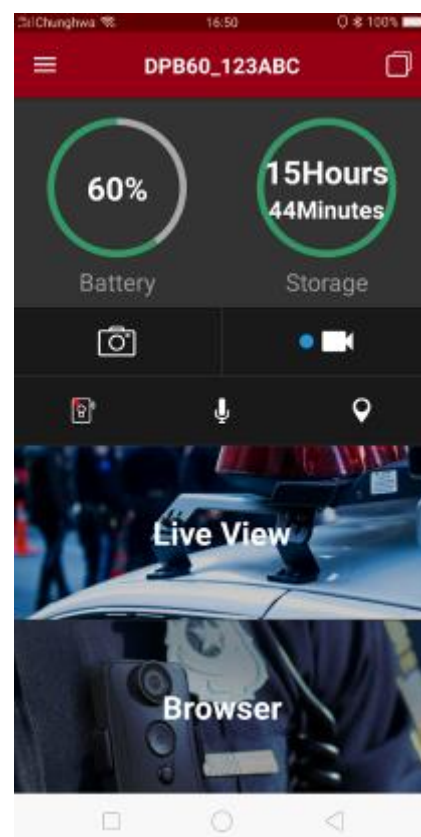
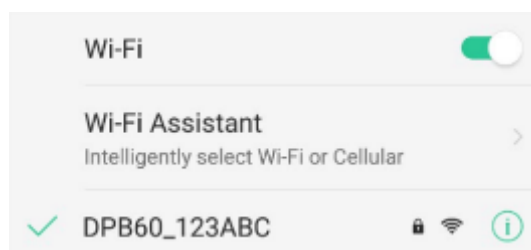
Power on the device



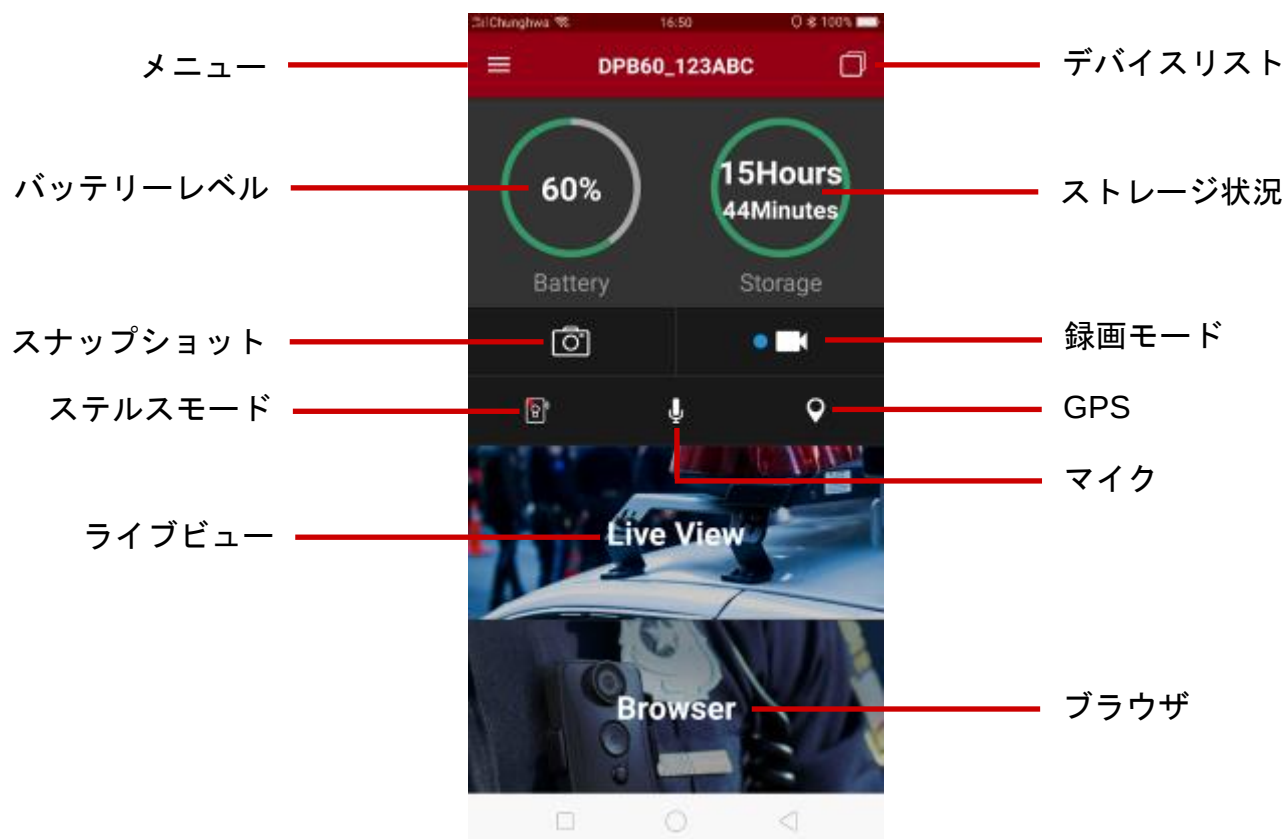
3. DrivePro Body の状態表示ボタンをビーブ音がするまで長押しします。アプリの **Next** をタップして Bluetooth 接続をすると、ビーブ音が 3 回します。これにより、スナップショットを撮影したり、録画モードに切り替えたり、設定をアプリ経由で調節することができます。



4. **Live View** または **Browser** をタップしてパスワード(デフォルト: 12345678)を入力すると Wi-Fi 接続します。



6-3 DrivePro Body App のホーム画面



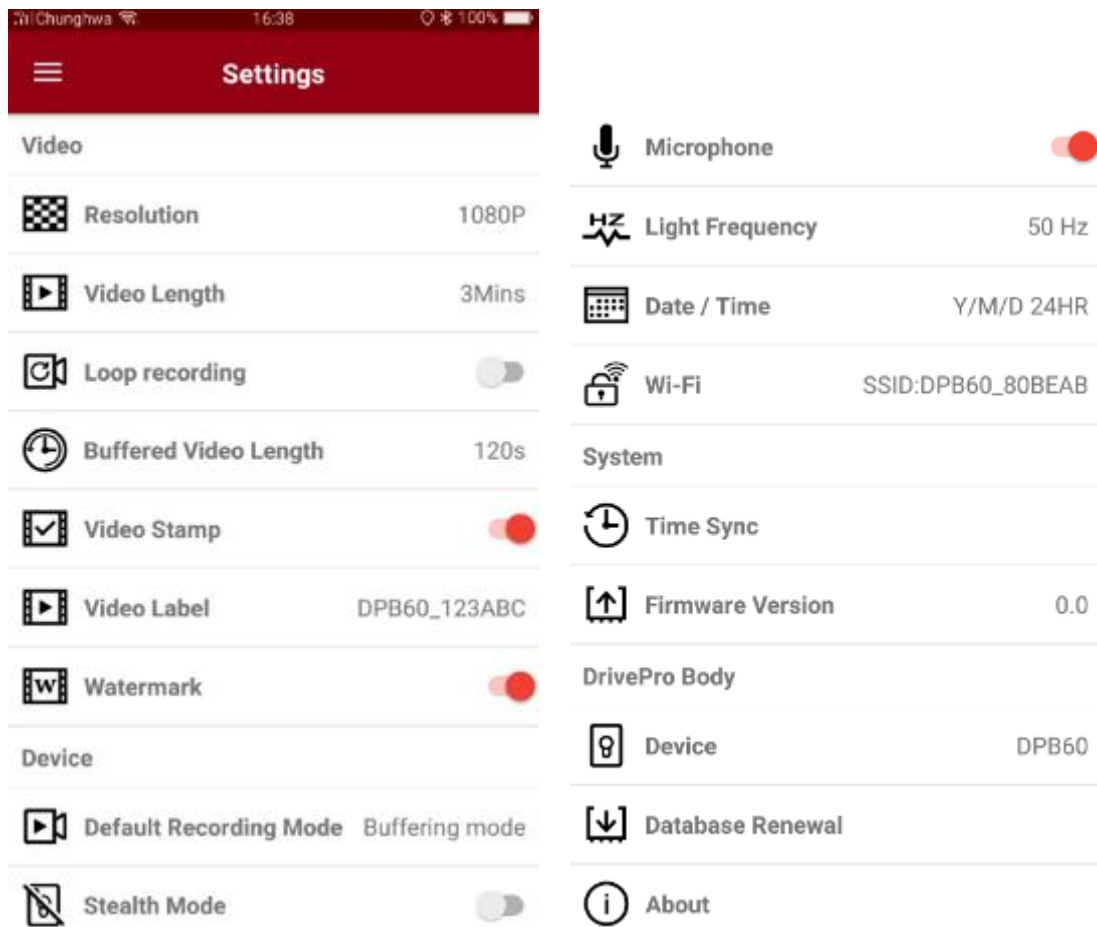
注記: アプリを使用中、 をタップした後ブラウザや設定をタップするとカメラは録画を停止し、前面の LED は青か赤の点灯となります。ホームをタップするとカメラは録画を再開します。

6-4 録画ファイルの再生とスナップショット閲覧

1. 録画ファイルの再生及びスナップショットを閲覧するにはホームページのブラウザをタップするか、左角上にある  を先ずタップしてから  DrivePro Body 60 をタップします。
2. 右角下の  アイコンをタップするとファイルのソートができます。



6-5 設定



左角上の  をまずタップし、次に  をタップすると、設定メニューに移動します。
設定メニューでは動画、デバイス、Wi-Fi、システムなどの設定変更ができます。

メニューオプション

録画



解像度: 録画動画の解像度/品質を設定します。

オプション: 1080p / 720p / 480p



録画時間: 各録画ファイルの録画時間の設定をします。

オプション: 3分 / 5分 / 10分



ループ録画: 空き容量がなくなると、古い録画ファイルを消去して新しい録画ファイルを保存します。

オプション: 無効(デフォルト) / 有効

注意:



1. 安定した録画を続けるために、毎回 DrivePro Body を使用後に DrivePro Body Toolbox を使用してバックアップをとってください。または 3 か月毎に DrivePro Body Toolbox で DrivePro Body のフォーマットを実施してください。
2. DrivePro Body のフォーマットは必ず DrivePro Body Toolbox を使って行ってください。



バッファリング録画時間: 録画モードに切り替える前にバッファリング映像として保持する時間を設定します。

オプション: 30 秒 / 60 秒 / 90 秒 / 120 秒



ビデオスタンプ: レーベル、日時、ウォーターマーク、GPS 位置情報をスナップショットや動画に表示します。

オプション: 無効 / 有効



ビデオレーベル: 表示されるレーベルを設定します。(デフォルトは DPB60_XXXXXX です。)



ウォーターマーク: トランセンドロゴのウォーターマークをスナップショットや動画に表示します。

オプション: 無効 / 有効

デバイス



デフォルトの録画モード: デフォルトの録画モードを設定します。

オプション: バッファリングモード(デフォルト) / 録画モード



ステルスモード: ステルスモードのオン/オフを設定します。ステルスモードがオンの時は LED ランプ、ブザー、バイブレーターは動作しません。

オプション: 無効 / 有効



マイク: 録画中にマイクの動作をオン/オフします。

オプション: 無効 / 有効



ライト周波数: A/C ライトの点滅を防ぐため、適当な周波数を設定します。

オプション: 50Hz / 60Hz



日時フォーマット: 日時のフォーマットを設定します。

オプション: YY/MM/DD / MM/DD/YY / DD/MM/YY (日付)、24HR / AM/PM (時刻)



Wi-Fi: DrivePro Body 60 に接続するための Wi-Fi の SSID を設定します。(デフォルトは

12345678 です。)

システム



時刻同期: DrivePro Body の時刻をスマートデバイスと同期します。



バージョン: ファームウェアを最新バージョンに更新します。

DrivePro Body



デバイス: カメラモデルを選択します。



データベースのリニューアル: 利用可能なデータベースを確認します。



情報: アプリのバージョン、ユーザーライセンス同意、オープンソースステートメントを表示します。

注意: ファームウェア更新中は電源ケーブルを抜かないでください。



1. ファームウェア更新中は DrivePro Body は電源オフとなり、緑の LED ランプが点滅します。更新が終了すると、DrivePro Body は自動で再起動します。
2. DrivePro Body がファームウェア更新の失敗により起動しない場合は、トランセンズのカスタマーサービスに連絡しテクニカルサポートを受けてください。

7. DrivePro Body Toolbox Software ソフトウェアの使い方

DrivePro Body Toolbox を利用するには管理者権限が必要です。

DrivePro Body Toolbox は動画ファイルを管理するためのソフトウェアです。Windows PC で DriveProBody の設定を行うことができます。

使用準備

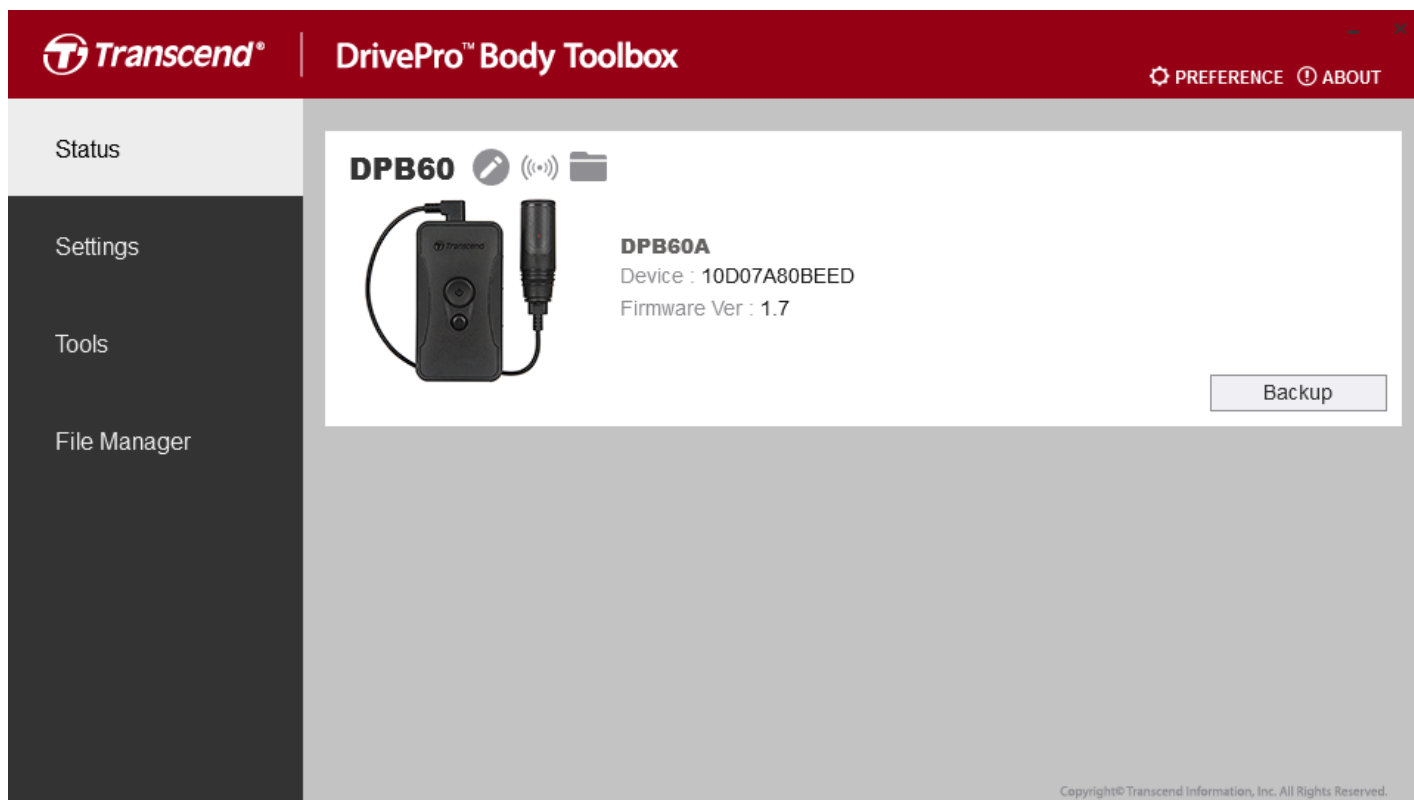
1. インストールするファイルをウェブからダウンロードします。

<https://jp.transcend-info.com/support/service>

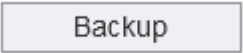
2. PC に DrivePro Body Toolbox ソフトウェアをインストールします。

7-1 ステータス

ステータスページでは DrivePro Body の基本情報(デバイスのシリアル番号、ファームウェアバージョン、ユーザーレーベル、モデル名など)を確認できます。



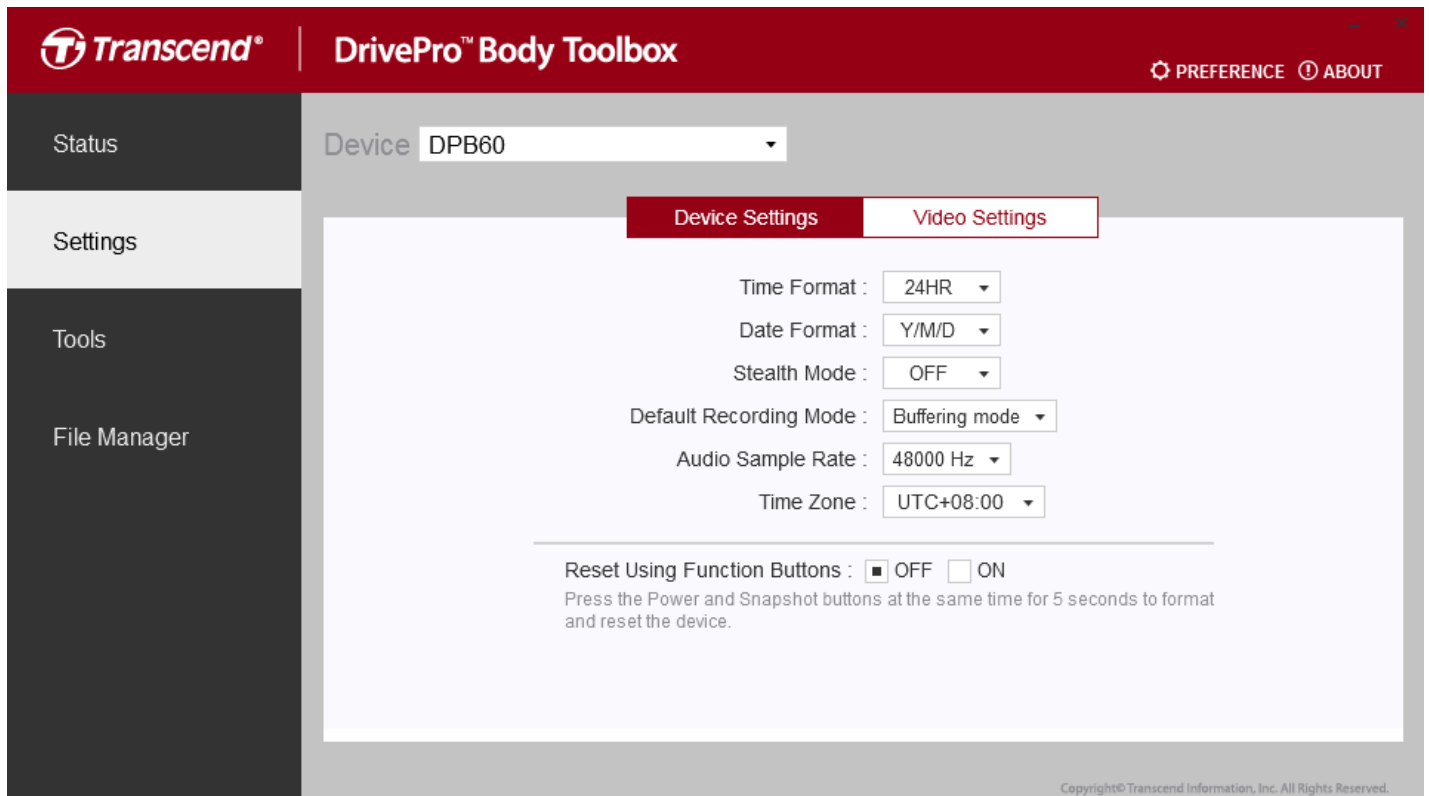
ユーザーレーベルを変更するには  をクリックします。

バックアップを開始するには  をクリックします。

動画再生や写真閲覧は  をクリックします。

7-2 設定

設定ページでデバイスの設定と動画設定を調整することができます。



デバイス設定

時刻フォーマット: 24 時間表示もしくは AM/PM の 12 時間表示を選択します。

オプション: 24HR / AM/PM

日付フォーマット: 日付のフォーマットを設定します。

オプション: YY/MM/DD / MM/DD/YY / DD/MM/YY

ステルスモード: LED ランプとブザーが作動しないステルスモードの設定をします。

オプション: 無効 / 有効

デフォルトの録画モード: デフォルトの録画モードを設定します。

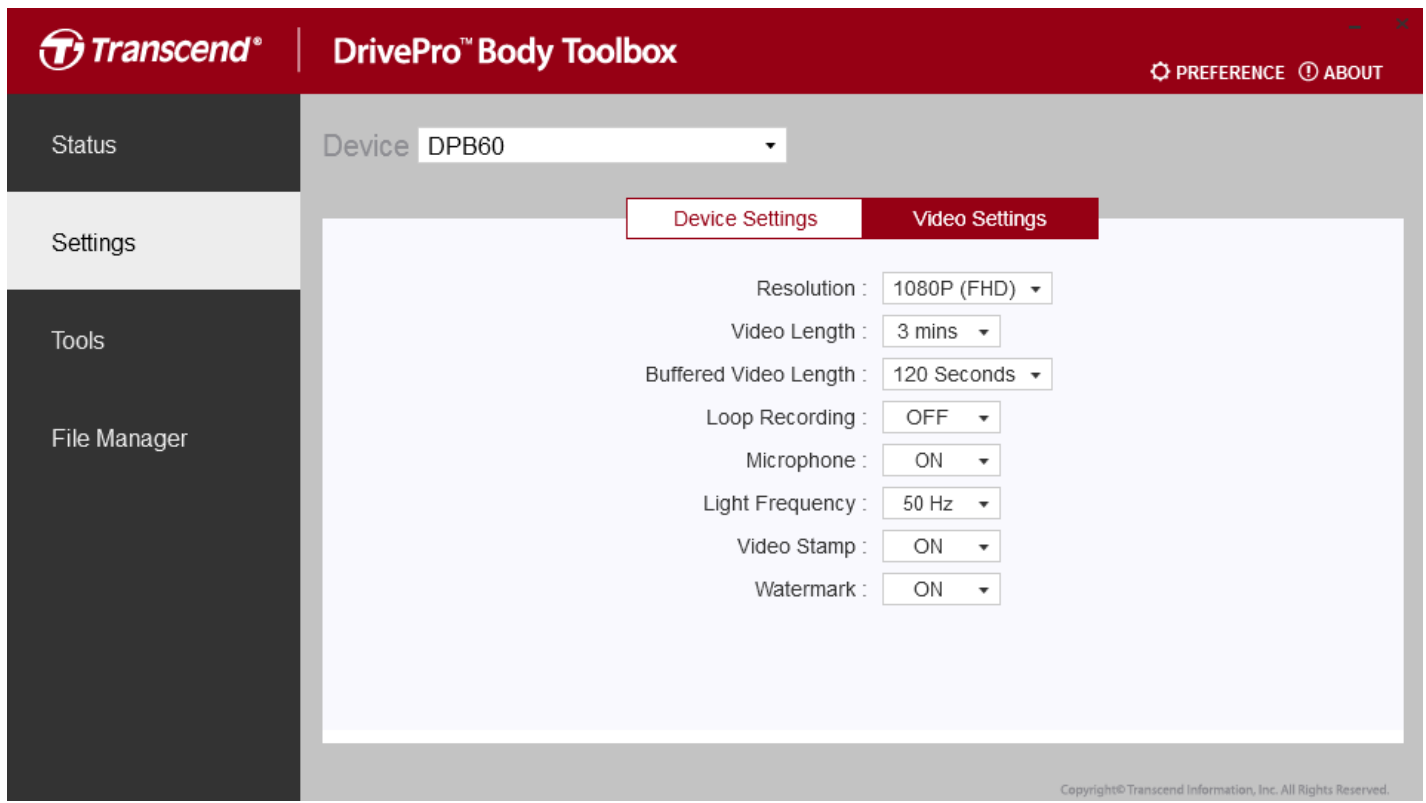
オプション: バッファリングモード(デフォルト) / 録画モード

オーディオサンプルレート: サンプルレートを設定します。

オプション: 48000 Hz/ 44100 Hz/ 32000 Hz/ 24000 Hz/ 22050Hz

タイムゾーン: タイムゾーンを設定します。

ボタン操作によるリセット: Press the Po 電源ボタンとスナップショット撮影ボタンを同時に5秒間押し続けると DrivePro Body をフォーマットしてリセットします。(デフォルト: オフ)



録画設定

解像度: 録画時の解像度/画質を設定します。

オプション: FHD / HD

録画時間: 各録画ファイルの録画時間の設定をします。

オプション: 3 分 / 5 分 / 10 分

バッファリング録画時間: 録画モードに切り替える前にバッファリング映像として保持する時間を設定します。

オプション: 30 秒 / 60 秒 / 90 秒 / 120 秒(デフォルト)

ループ録画: 空き容量がなくなると、古い録画ファイルを消去して新しい録画ファイルを保存します。

オプション: 無効(デフォルト) / 有効

マイク: 録画中にマイクの動作をオン/オフします。

オプション: 無効 / 有効

ライト周波数: A/C ライトの点滅を防ぐため、適当な周波数を設定します。

オプション: 50Hz / 60Hz

ビデオスタンプ: レーベル、日時、ウォーターマーク、GPS 位置情報をスナップショットや動画に表示します。

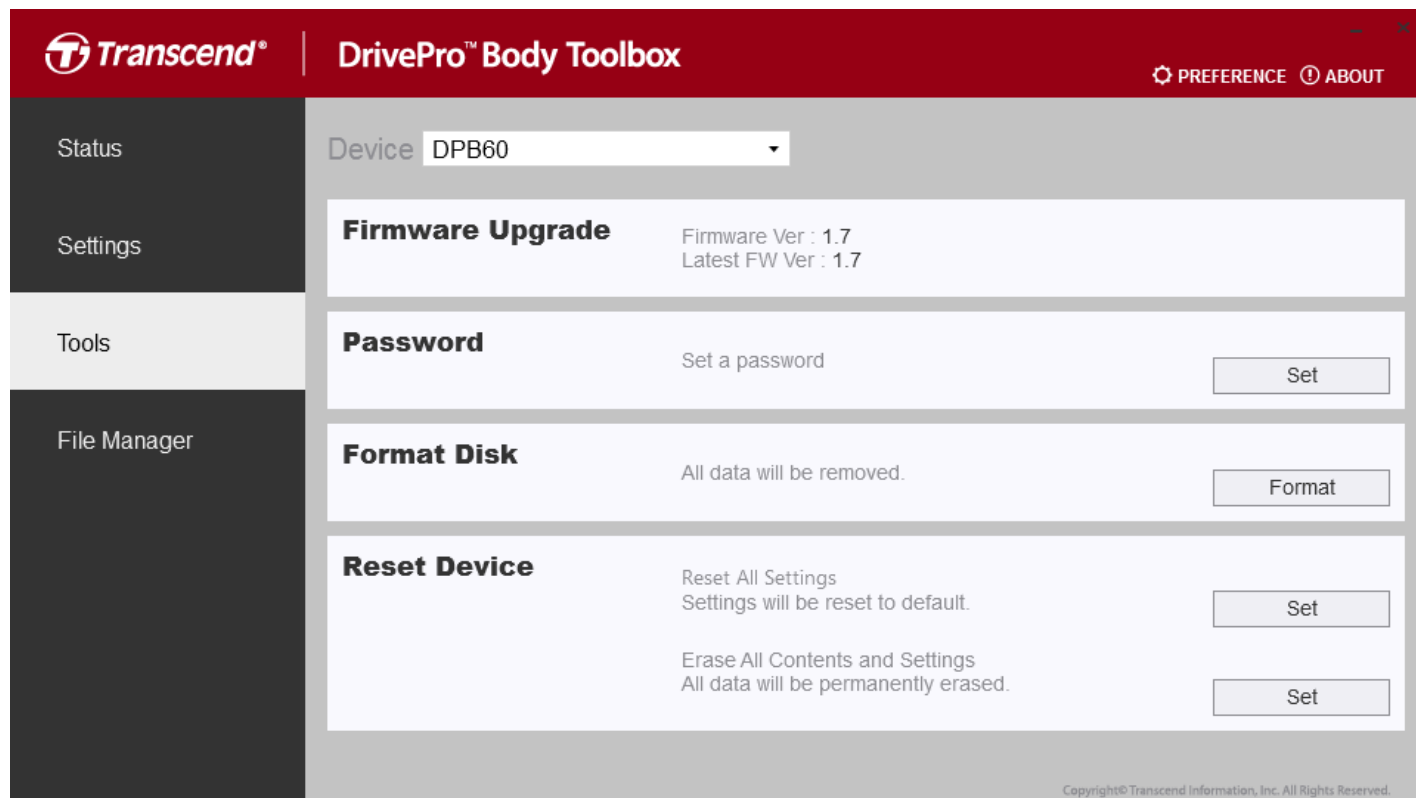
オプション: 無効 / 有効

ウォーターマーク: トランセンドロゴのウォーターマークをスナップショットや動画に表示します。

オプション: 無効 / 有効

7-3 ツール

ファームウェアを最新バージョンに更新したり、DrivePro Body のディスクフォーマットをしたり、初期状態にリセットできます。



注記: ディスクのフォーマットやデバイスのリセットは既存データを完全削除します。

ファームウェア更新: 最新のバージョンにファームウェアを更新します。

パスワード: 録画データを保護するためのパスワード(8~16 文字の半角英数字)を設定します。

ディスクのフォーマット: デバイスのフォーマットをします。

デバイスのフォーマット: 設定を初期の状態に戻すか設定内容を全て消去します。

7-4 ファイル管理

撮影データの検索及び管理と、写真の編集ができます。

DrivePro™ Body Toolbox

PREFERENCE
 ABOUT

Status

Settings

Tools

File Manager

2018_0507_113028_024

Date : 2018/05/07 11:30:28
 Owner :
 Location : 25.06474 , 121.5848
 Category :
 Description :

From : 選取日期

 To : 選取日期

Title	Type	Date	Camera	Owner
2018_0507_104420_022	MP4	2018/05/07 10:44:20	10D07A80BEF7	
2018_0507_112727_023	MP4	2018/05/07 11:27:26	10D07A80BEF7	
2018_0507_113028_024	MP4	2018/05/07 11:30:28	10D07A80BEF7	
2018_0507_113327_025	MP4	2018/05/07 11:33:26	10D07A80BEF7	
2018_0507_120235_026	MP4	2018/05/07 12:02:36	10D07A80BEF7	
2018_0507_120657_027	MP4	2018/05/07 12:06:56	10D07A80BEF7	

Copyright© Transcend Information, Inc. All Rights Reserved.

をクリックすると画面上で録画データを再生します。
 をクリックすると動画再生を全画面表示にします。GPS 受信器搭載モデルの場合、移動経路が表示されます。

DrivePro™ Body Toolbox

00:38/03:00

オーナーやカテゴリーを追加、削除、編集する場合は

 をクリックします。

22

Settings

Owner	Category
John	Murder
Mary	Car theft
Michael	

OK

 をクリックして選択したファイルのオーナーやカテゴリーを編集します。

Edit

2000_0101_000008_001

Category :

Murder

Owner :

Michael

Description :

this is ...

OK Cancel

7-5 詳細設定

ページのトップの  **PREFERENCE** をクリックして DrivePro Body Toolbox の詳細設定を行います。お好みでオプションをチェックします。

Preference

System

Backup

Device

☐ Run on Windows startup

☐ Run minimized

Language:

English

OK

Preference

System

Backup

Device

☐ Auto back up

☐ Delete files after backup is completed

Path of backup:

D:\DriveProBody\backup

Change

OK

Preference

System

Backup

Device

☐ Auto sync time with PC

OK

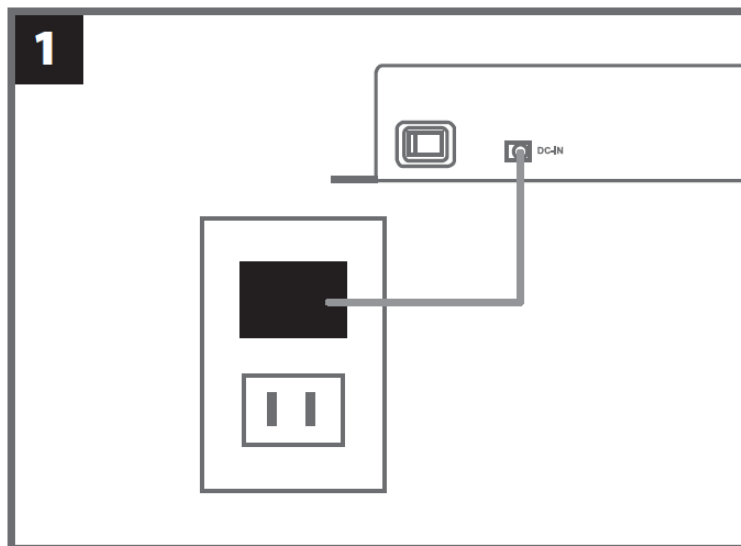
8. 充電ドック(別売り)

DrivePro Body 60 用に設計されたトランセンドの DPD6N ネットワーク充電ドックでは、充電するだけでなく、データのアップロードやカメラ管理のソリューションを提供します。DrivePro Body 30 の大規模運用として、同時充電やネットワークベースのデータ、カメラ管理に役立ちます。USB 3.0 ポート経由で外付けストレージとファイルを共有します。

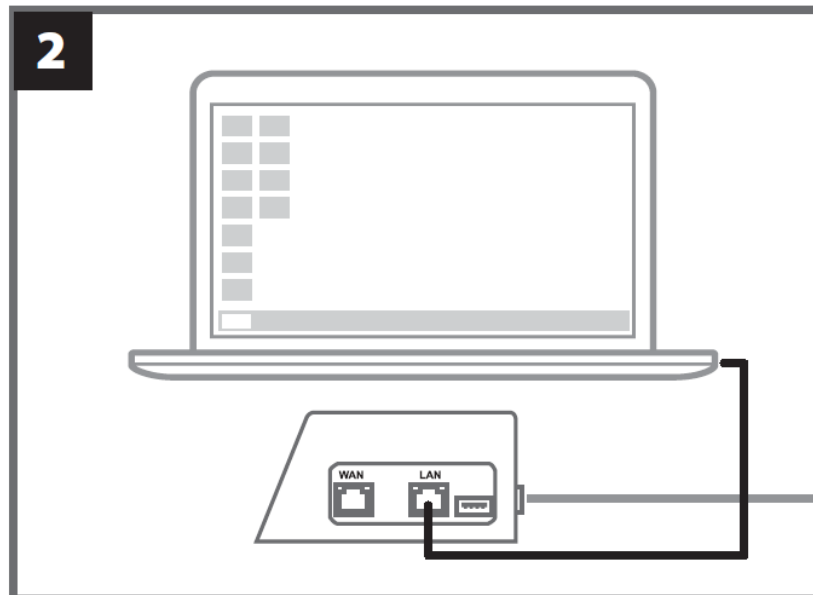


インストールガイド

1. 電源アダプタを接続し電源スイッチを入れます。



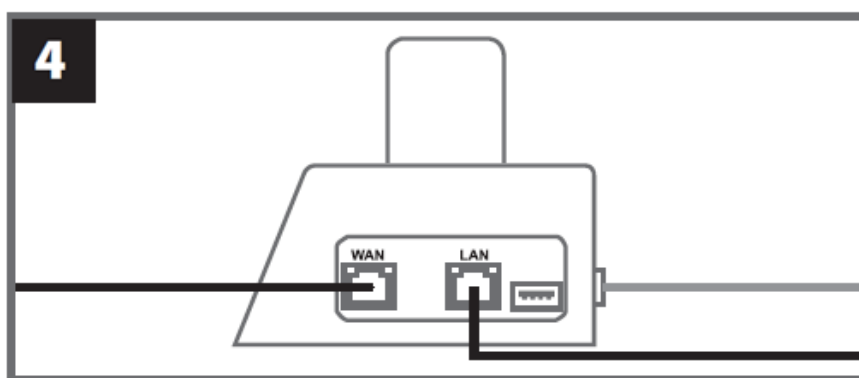
2. イーサネットケーブルを充電ドックの設定専用ポート（LAN）からコンピュータの LAN ポートに接続します。



3. もう一つのイーサネットケーブルを WAN ポートからデータ保存先のサーバーが接続されているネットワークのポートに接続します。



4. 次のステップに進む前に LAN ポートと WAN ポート**両方とも**対応するポートに接続し、データ保存先のサーバーに接続されていることを確認してください。もし設定用 PC とデータ保存先サーバーの 2 つのうちどちらかが接続されていないと自動バックアップの設定をすることはできません。



5. 設定用 PC の IP アドレスを 10.10.0.100 に変更します。

5

☒ Use the following IP address:

IP address:

6. ブラウザを開き <http://10.10.0.1> にアクセスします。

6

7. デフォルトのユーザー名“admin” とパスワード“12345678” を入力してログインします。

7

username

password

8. 管理者としてログイン後、ウェブページで設定を行います。

⚙️ **Language (言語)** で使用する言語を選択します

📁 **Auto backup (自動バックアップ)** にはお望みのバックアップの宛先を選びます。外付けストレージスペースにデータをバックアップするには“USB ストレージ”を選択します。データ保存先サーバーにバックアップするには“ネットワーク”を選択します。データ保存先サーバーのアドレス指定とサーバーにアクセスする権限を持つ ID とパスワードの入力が必要です。

🔑 **Change login password (ログインパスワードの変更)** ではデフォルトのログインパスワードの“12345678”から新しいパスワードへ変更ができます。 **ご注意: デフォルトのユーザー名“admin”は変更できません。**

⬆️ **Change IP address** で WAN IP アドレスを変更することで、データ保存先サーバーにアクセスを変更することができます。変更する際はデータ保存先サーバーと同じネットワーク内であることを確認してください。 **ご注意: このオプションは WAN ポートの変更に限定です。設定専用ポート (LAN) は 10.10.0.100 のままにし、もし変更が必要な場合でもデータのセキュリティの為に WAN IP アドレスと設定専用ポート (LAN) を同じネットワークドメインに設定しないでください。**

⚙️ Language

English ▾

📁 Auto backup

ON

☐ USB Storage

☒ Network

\\p address\folder

User name

Password

Save

☐ Delete files after backup is completed

🔑 Change login password

Original password

New password

Confirm password

confirm

↕ Change IP address

ON

IP address

mask

save

V1.2.0

9. 設定が完了しました。DrivePro Body の充電及びデータアップロードが利用できます。

9. 注意事項

■ 誤動作や変形を防ぐために DrivePro Body を以下の場所で使用したり、保管しないようにしてください。

- 炎天下の車内など非常に高温、低温または高湿の環境
- 直射日光が当たる場所、暖房機器の近く

- 強い磁気が発生している周辺
- 砂やほこりの多い場所

■ DrivePro Body のレンズの手入れと保管

- 以下の場合は柔らかい布などでレンズの表面を拭いてください。
 - レンズ表面に指紋がついたとき
 - 海辺など潮風にレンズがさらされたとき
- 汚れや埃がつかないように換気のよい場所に保管してください。
- かびが付かないようにレンズを定期的に上記の様に拭いてきれいにしてください。

■ クリーニング

DrivePro Body の表面を少し水で湿らせた柔らかい布などでクリーニングし、その後乾いた布で拭きます。キズをつけないよう、以下にご注意ください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、使い捨て布、虫除け、日焼け止め、殺虫剤などの化学薬品や製品は使用しない。
- 上記などの化学薬品がついた手でカメラに触れない。
- カメラがゴムやビニールなどと接触した状態で長時間放置しない。

■ 結露

- DrivePro Body を寒い場所から暖かい場所(もしくは暖かい場所から冷たい場所)に移した場合、カメラの内外に結露が発生することがあります。結露が発生すると DrivePro Body の機能不良が起こる原因になることがあります。
- 結露が発生したら DrivePro Body の電源を切り、水分が蒸発して乾くまで待ってから使用してください。

■ GPS 受信機

- GPS システムの精度やパフォーマンスは使用状況の変化に影響を受けやすいため、トランセンドは GPS データの精度を保証しておりません。DrivePro Body の使用時に個人の判断に影響を与えるものではありません。
- GPS 信号はビルや金属フィルムによって遮られることがあります。GPS データの精度は天候や使用場所(例: 高層ビル群、トンネル内部、地下、森林)を含む周辺環境の影響を受けることがあります。DrivePro Body を屋外で使用する場合は最初に信号障害のない場所で GPS 測位を行ってください。

■ 接着タイプのカメラホルダーベース

- 接着は凹凸のない箇所に行ってください。
- 取付け方法
 - 接着する箇所の汚れを取り除きます。
 - 確実に取り付けられていることを確認するため、接着してから 24 時間以上経過してから使用を開始してください。

10. IP67 保護等級

DrivePro Body 60 は IP67 保護等級で、防滴、防水、防塵に対応していますが、この保護は恒久的なものではなく、通常使用で劣化していくことがあります。水没、液体による故障は保証対象外です。



注意: 電源アダプタに接続している場合や本体ユニットのネジを外している場合は DrivePro Body 60 は防水ではありません。

不正な使用に起因する不具合は保証の対象となりません。

- DrivePro Body 60 は完全防水ではありませんので水中での使用はできません。
- DrivePro Body 60 を高温もしくは多湿の環境で使用しないでください。(例：サウナ、スチーム、シャワールームなど)
- 湿気の浸透を避けるため、DrivePro Body 60 を雨の中で長時間使用しないでください。電源アダプタ、ケーブル、ソケットは充電する前に乾いていることを確認してください。

11. パッケージ内容

- DrivePro Body 60



- ベルトホルスター



- 電源アダプタ



- 3.5mm-USB 変換ケーブル



■ カメラホルダー



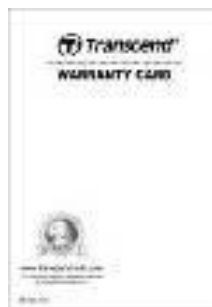
■ クリップ&接着タイプのカメラホルダーベース



■ Quick Start Guide (クイックスタートガイド)



■ Warranty Card (保証書)



12. 仕様

接続インターフェース	USB 2.0
内蔵ストレージ	64GB の内蔵メモリ
サイズ	本体: 95.9 mm (L) × 52.2 mm (W) × 24.9 mm (H) カメラ: 61.3 mm x Ø22 mm
重量	167g
バッテリー	リチウムポリマー, 3120mAh
電源供給	入力: AC100V-240V, 50-60Hz, 最大 0.4A 出力: DC5V 2A
連続動作時間	最大 10 時間*
動作環境温度	-20°C ~ 60°C (電源アダプタを使用して充電中は 5°C ~ 45°C)
動画フォーマット	H.264 (MP4: 最大 1920x1080 30fps)
保護等級	IP67
耐衝撃性	MIL-STD-810G 516.6-Transit 落下試験
レンズ	F/2.8, 130°ワイドアングル
解像度 / フレームレート	フル HD (1920 x 1080) / 30fps
認証	CE, FCC, BSMI, NCC, MIC
保証期間	2 年

*使用環境や使用方法によって異なります。

13. トラブルシューティング

DrivePro Body に故障や問題が生じた場合は、製品を修理に送付する前にまず下記の項目をチェックしてください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ウェブサイトでも FAQ とサポート情報を公開しております。 <https://jp.transcend-info.com/>

オンライン問い合わせフォーム: https://jp.transcend-info.com/Support/contact_form

■ OSがDrivePro Body を認識しません

以下の項目をチェックしてください。

1. DrivePro Bodyが正しくUSBポートに接続されていますか。接続されていない場合は、一度取り外してから再度接続してください。USBケーブルの両端がマニュアルに示されているように正しく接続しているか確認ください。
2. DrivePro BodyがMacキーボードに接続されていませんか。接続されている場合は、キーボードから取り外してMacデスクトップのUSBポートに接続してください。
3. そのUSBポートは利用可能ですか。利用可能でない場合は、ご使用のコンピュータ(又はマザーボード)のマニュアルを参照して利用可能な状態にしてください。

■ DrivePro Body のボタン操作ができません

ペーパークリップのような先の細いものを使って本体下部にあるリセットボタンを長押ししてください。

■ DrivePro Body は耐衝撃性で防水性ですか？

DrivePro Body 60 は IP67 保護等級の粉塵保護と防水能力、および米軍標準の厳格な落下試験規格相当の耐衝撃性をもっています。*

*MIL-STD-810G 516.6-Transit 落下試験条件を参考に自社で試験を実施

14. リサイクルと環境への配慮



製品のリサイクル(WEEE): 本製品はリサイクルまたは再使用が可能な高品質の部材を使用して設計および製造されています。車輪付きゴミ箱にバツ印の入ったマークはWEEE指令対象製品であることを示しています。

電気・電子機器を廃棄する際には、販売店による引取りなど、必ず各国の法律に従ってください。環境や健康に悪影響を及ぼす可能性がありますので、古くなった製品は適切な方法で廃棄するようにしてください。



バッテリーの廃棄: このマークはEU新電池指令(2006/66/EC)に該当する充電式バッテリーを内蔵している製品に表示されており、適切な方法で廃棄する必要があります。

バッテリーを廃棄する際には、必ず各国の法律に従ってください。環境や健康に悪影響を及ぼす可能性がありますので、バッテリーは適切な方法で廃棄するようにしてください。

取替え不可なバッテリーが内蔵されている製品についてはバッテリーを取り外す(または取り外そうとする)と保証が無効となります。製品を廃棄する際に取り外して適切に廃棄してください。

警告

適切でないタイプの製品に交換すると破裂などの危険性があります。
使用済みのバッテリーは自治体の指示に従って廃棄してください。

15. 保証規定

製品は制限付きの2年保証です。製品が推奨された環境において通常の使用をしている間に、製造や部品の不備のせいで不具合が起きた場合、オリジナル購入日より2年の保証期間内であればトランセンドの保証規定に沿って保証サービスを提供します。保証サービスを受けるには、購入日を証明するものが必要となります。トランセンドは製品を検査し、修理可能であるか、交換が適当であるかどうかを査定します。修理か交換の決定はトランセンドにお任せください。トランセンドでは該当製品と機能的に同等である製品と交換する権利も保有させていただきます。特別な条件下では保証申請時の製品の時価で返金することがありますが、トランセンドによる決定が最終でかつ拘束力があります。トランセンドは保証対象外製品の検査、修理、交換のサービス提供をいたしておりません。保証対象外製品へのサービスは有料となることがあります。

制限事項

製品に付随するディスク、ダウンロード、プリロードされたフォームなどを含むソフトウェアやデジタルデータは本保証対象外です。本保証は、事故、不正扱い、酷使、不正な取付け、改造、天災、間違った使用、電気的問題（低電圧、過電圧、不安定電源供給含む）などによる不良には適応いたしません。また、製品ケースの取り外し、品質シールや製品シリアル番号を含めた製品表面の物理的ダメージ、誤用、改変が認められる製品の保証はいたしません。トランセンドは、ハードディスクやフラッシュメモリデバイスの故障によるいかなるデータの損失について復旧の責任を負いません。トランセンドの Drive Pro Body は業界基準に沿っていることが確認されたデバイスと一緒にご使用してください。トランセンドはサードパーティのデバイスとの併用で生じたトランセンド製品不具合によるダメージについての責任を負わないこととします。また、後発的、間接的又は偶発的なダメージや、負債、投資の損失、データの損失によるビジネス弊害などについても一切の責任を負わないこととします。また、サードパーティの装置のダメージや故障については、その可能性を認知していたとしても責任を負いません。また、本保証は製品本体に適用するもので、統合された液晶パネル、再充電式バッテリー、製品のアクセサリ（ケーブル、カードアダプタ、AC アダプタ、リモコンなど）は除外されます。

トランセンドの保証規定

トランセンドの保証規定はウェブでご確認ください。製品を使用することによって、トランセンドの保証規定に同意したものとします。規定は随時改訂することがあります。

<https://jp.transcend-info.com/Legal/?no=7>



Transcend Information, Inc.

www.transcend-info.com

*Transcend ロゴは Transcend Information, Inc. の登録商標です。

*すべてのロゴとマークは各社の商標です。

*ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

16. GNU General Public License (GPL) Disclosure

Firmware incorporated into this product and/or software used for this product may include third party copyrighted software licensed under the GPL (hereinafter referred to as "GPL Software"). In accordance with the GPL, if applicable: 1) the source code for the GPL Software may be downloaded at no charge or obtained on CD for a nominal charge by calling Customer Support within three years of the date of purchase; 2) you may copy, re-distribute and/or modify the GPL Software under the terms of the GNU General Public License as below or any later version, which may be obtained at <http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>; 3) the GPL Software is distributed WITHOUT ANY WARRANTY, without even implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. The entire risk as to the quality and performance of the GPL Software is with you. Transcend does not provide any support for the GPL software.

17. End-User License Agreement (EULA)

Software license terms and conditions

1. Generally. Transcend Information, Inc. ("Transcend") is willing to grant the following license to install or use the software and/or firmware ("Licensed Software") pursuant to this End-User License Agreement ("Agreement"), whether provided separately or associated with a Transcend product ("Product"), to the original purchaser of the Product upon or with which the Licensed Software was installed or associated as of the time of purchase ("Customer") only if Customer accepts all of the terms and conditions of this Agreement. PLEASE READ THESE TERMS CAREFULLY. USING THE SOFTWARE WILL CONSTITUTE CUSTOMER'S ACCEPTANCE OF THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT. IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT, DO NOT INSTALL OR USE THE LICENSED SOFTWARE.

2. License Grant. Transcend grants to Customer a personal, non-exclusive, non-transferable, non-distributable, non-assignable, non-sublicensable license to install and use the Licensed Software on the Product in accordance with the terms and conditions of this Agreement.

3. Intellectual Property Rights. As between Transcend and Customer, the copyright and all other intellectual property rights in the Licensed Software are the property of Transcend or its supplier(s) or licensor(s). Any rights not expressly granted in this License are reserved to Transcend.

4. License Limitations. Customer may not, and may not authorize or permit any third party to: (a) use the Licensed Software for any purpose other than in connection with the Product or in a manner inconsistent with the design or documentations of the Licensed Software; (b) license, distribute, lease, rent, lend, transfer, assign or otherwise dispose of the Licensed Software or use the Licensed Software in any commercial hosted or service bureau environment; (c) reverse engineer, decompile, disassemble or attempt to discover the

source code for or any trade secrets related to the Licensed Software, except and only to the extent that such activity is expressly permitted by applicable law notwithstanding this limitation; (d) adapt, modify, alter, translate or create any derivative works of the Licensed Software; (e) remove, alter or obscure any copyright notice or other proprietary rights notice on the Licensed Software or Product; or (f) circumvent or attempt to circumvent any methods employed by Transcend to control access to the components, features or functions of the Product or Licensed Software.

5. Copying. Customer may not copy the Licensed Software except that one copy of any separate software component of the Licensed Software may be made to the extent that such copying is necessary for Customer's own backup purposes.

6. Open Source. The Licensed Software may contain open source components licensed to Transcend pursuant to the license terms specified as below,

- (a) GNU General Public License (GPL), the terms of which is currently available at <http://www.gnu.org/licenses/gpl.html> ;
- (b) GNU Lesser General Public License (LGPL), the terms of which is currently available at <http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html> ; and/or
- (c) Code Project Open License (CPOL), the terms of which is currently available at <http://www.codeproject.com/info/cpol10.aspx>

The above license terms will control solely with respect to the open source components. In the event that this Agreement conflicts with the requirements of the above one or more terms with respect to the use of the corresponding open source components, Customer agrees to be bound by such one or more license terms.

7. Disclaimer. TRANSCEND MAKES NO WARRANTY AND REPRESENTATIONS ABOUT THE SUITABILITY, RELIABILITY, AVAILABILITY, TIMELINESS, LACK OF VIRUSES OR OTHER HARMFUL COMPONENTS AND ACCURACY OF THE INFORMATION, LICENSED SOFTWARE, PRODUCTS, SERVICES AND RELATED GRAPHICS CONTAINED WITHIN THE LICENSED SOFTWARE FOR ANY PURPOSE. ALL SUCH INFORMATION, LICENSED SOFTWARE, PRODUCTS, SERVICES AND RELATED GRAPHICS ARE PROVIDED "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. TRANSCEND HEREBY DISCLAIMS ALL WARRANTIES AND CONDITIONS WITH REGARD TO THIS INFORMATION, LICENSED SOFTWARE, PRODUCTS, SERVICES AND RELATED GRAPHICS, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WORKMANLIKE EFFORT, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL TRANSCEND BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, PUNITIVE, INCIDENTAL, SPECIAL, CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, ARISING OUT OF OR IN ANY WAY CONNECTION WITH THE USE, PERFORMANCE OR ACCURACY OF THE LICENSED SOFTWARE OR WITH THE DELAY OR INABILITY TO USE THE LICENSED SOFTWARE, OR THE PRODUCT WITH WHICH

THE LICENSED SOFTWARE IS ASSOCIATED, WHETHER BASED ON CONTRACT, TORT, NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF TRANSCEND HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

8. Limitation of Liability. IN ANY CASE, TRANSCEND 'S LIABILITY ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THIS AGREEMENT WILL BE LIMITED TO THE TOTAL AMOUNT ACTUALLY AND ORIGINALLY PAID AT RETAIL BY CUSTOMER FOR THE PRODUCT. The foregoing Disclaimer and Limitation of Liability will apply to the maximum extent permitted by applicable law. Some jurisdictions do not allow the exclusion or limitation of incidental or consequential damages, so the exclusions and limitations set forth above may not apply.

9. Termination. Transcend may, in addition to any other remedies available to Transcend, terminate this Agreement immediately if Customer breaches any of its obligations under this Agreement.

10. Miscellaneous. (a) This Agreement constitutes the entire agreement between Transcend and Customer concerning the subject matter hereof, and it may only be modified by a written amendment signed by an authorized executive of Transcend. (b) Except to the extent applicable law, if any, provides otherwise, this Agreement will be governed by the law of the Republic of China, excluding its conflict of law provisions. (c) If any part of this Agreement is held invalid or unenforceable, and the remaining portions will remain in full force and effect. (d) A waiver by either party of any term or condition of this Agreement or any breach thereof, in any one instance, will not waive such term or condition or any subsequent breach thereof. (e) Transcend may assign its rights under this Agreement without condition. (f) This Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the parties, their successors and permitted assigns.

18. Federal Communications Commission (FCC)

Statement

This device complies with Part 15 FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference. (2) This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This Equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

RF Exposure Information (SAR)

This equipment complies with the FCC portable RF exposure limit set forth for an uncontrolled environment. The exposure standard for wireless devices employing a unit of measurement is known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

This equipment could be installed and operated with minimum distance 0cm between the radiator & your body.

* Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the authority to operate equipment.

* This device and its antenna must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Transcend Information Inc (USA)
1645 North Brian Street, Orange, CA 92867, U.S.A
TEL: +1-714-921-2000